

事業コード	04050503			政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略					
事業名	道の駅感染症対策事業			施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備					
				指標コード	05	施策目標(指標)名	地方創生の拠点としての「道の駅」の魅力の向上					
部局名	建設部	課室名	道路課	班名	道路環境維持班		(tel)	2488	担当課長名	川辺透	担当者名	木村圭佑
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和03年度 ~ 令和03年度	

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 道の駅は24時間利用可能なトイレを提供している。一部の道の駅はトイレを使用する際、使用後に水を流すプッシュボタンや、手洗い場の蛇口やプッシュボタンに接触する必要がある、感染症対策が講じられていない。そこで県管理道の駅について自動水栓化未対策箇所について、自動水栓化を行うものである。	3．事業目的(どのような状態にしたいのか)		
	県管理道の駅の24時間利用可能トイレについて、自動水栓化を行い、道の駅を利用することによる新型コロナウイルス感染を防ぐ。		
	(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望		
4．目的達成のための方法			

2．住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期 : 年 00 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット) その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容					事業の実施主体	県
					事業の対象者・団体	道の駅利用者
					達成のための手段	・ 県管理道の駅について2 4 時間利用可能なトイレの手洗い場の自動水栓化 (男・女・多目的) ・ 県管理道の駅について2 4 時間利用可能なトイレの男子小便器自動水栓化

把握してない場合の理由及び今後の方針					比較した代替手段及び選択した手段の有効性				
理由	県管理道の駅でトイレの自動水栓化未対応箇所の調査を行い、未対応箇所の対策を行う必要があるため				今回実施する事業は、全国的に感染防止対策としてリスク低減の効果があるとされており、道の駅を安全に利用してもらうためには必要な手段である。				

今後の方針	対策後、道の駅職員へ聞き取りを行い、効果を検証する。								
-------	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

5．事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位	事 業 内 訳	左 の 説 明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	0 8年度	全体(最終)計画
01	道の駅感染症対策事業	手洗い場、トイレのタッチレス化	1,960	0	0	0	0	0	0
財源内訳			1,960	0	0	0	0	0	0
国 庫 補 助 金			1,960	0	0	0	0	0	0
県 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他			0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源			0	0	0	0	0	0	0

